

令和元年11月10日

マンション管理組合理事長 様
マンション管理会社 様

千葉市環境局資源循環部
廃棄物施設維持課長

幕張クリーンセンターの今後の対応について【第7報】(お知らせ)

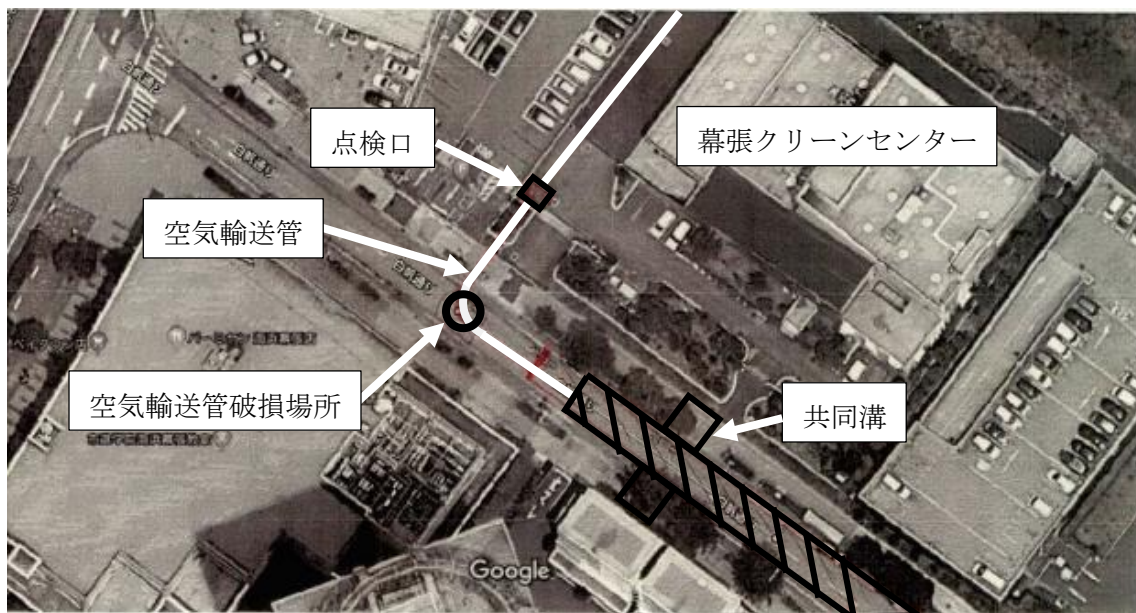
1 はじめに

現段階の幕張クリーンセンターの不具合対応に関する現状と今後のスケジュールについてお知らせします。

2 現在までの対応状況

・空気輸送管の破損個所を調査

9月2日(月)のトラブル発生後、直ちに管内調査用のカメラを手配し、調査を開始しました。調査した結果、点検口の端から約19m、深さ約5mの場所(下図の○印)で、管に6mmの穴が開いており、そこから地下水が流入してくることが分かりました。流入する地下水は排水し、穴が開いた区間以外には、水が入り込まないようにしてあります。



・市直営による臨時収集の実施（9月）

カラスネットを配布し、9月6日（金）から毎週火・金曜日に可燃ごみを収集することとしました。また、不燃ごみに関しては、エリアを分割して9月25日（水）に打瀬2・3丁目、26日（木）に打瀬1丁目の収集をしました。

・委託業者による臨時収集の実施（10月以降）

10月以降は、一般廃棄物収集運搬協同組合に委託し、下記の日程でごみの収集を行っております。資源ごみや不燃ごみに関しては、今まで通り実施しております。

収集地区	可燃ごみ	不燃ごみ
打瀬1丁目	月・木曜日	第2・4水曜日
打瀬2丁目	火・金曜日	第2・4木曜日
打瀬3丁目	水・土曜日	第2・4火曜日

3 補修方法の検討状況について

・内部に人が入り込んでの補修の検討

穴あき個所は、空気輸送管内に人が入れる場所から19m離れた場所であり、管の直径が50cmかつ勾配もついているため、管の内部へ人が潜り込み内側から溶接補修することは安全が確保できず、困難であるとのことでした。

・土木業者による設計なしでの掘削の検討

設計を行わずに掘削できないか検討しましたが、掘削の深さが6mと深く、地下水も湧いてくるため、対策が必要なこと、また、電力ケーブルと交差しており、施工前に安全性や防護・仮移設等が必要であり、施工は簡単ではないと判断しました。また、道路を全面通行止めにして施工する必要があるため、近隣の商業施設に対する影響や、路線バスルートの変更、マンションの出入りなどについて十分な考慮を盛り込んだ設計を行う必要があることが分かりました。

・輸送管メンテナンス会社による、掘削及び輸送管補修の検討

設計施工で修繕することを検討しましたが、土木工事そのものの困難さ、さらに工事に関する関係者との調整業務が不確定で金額や工期を見積もることが難しいとの理由で、辞退の申し出がありました。

- ・コンサル業者と設計についての調整

複数の分野にまたがり、空気輸送システムの管の修繕に関しては特殊分野のため、なかなか設計を請け負ってもらえる業者が見つかっておりませんが、引き続きコンサル業者を探しています。(大手コンサル等6社中、4社辞退。2社調整中)

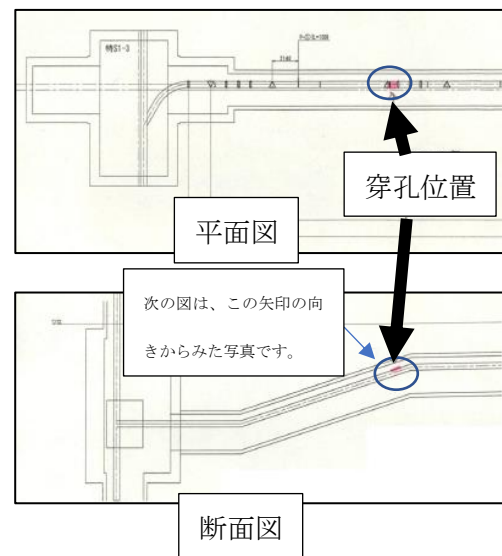
なお、建設当初の設計コンサル業者とは連絡、調整が取れ、打ち合わせを今後行う予定です。

- ・設計ができる大手土木会社との調整

幕張クリーンセンター前の共同溝を建設した会社は、三井不動産・坂田建設・畔蒜建設であったため、これらの建設会社に参考となる情報提供を求めています。

4 穴あきの原因

令和元年7月23日共同溝内で、点検中に配管に穴が開いた箇所を例に出し、原因の考察をまとめます。共同溝内で発見された穿孔の位置は、下の図のとおりでした。



穴の開いた状況の写真は下の図のとおりです。



ごみを引っ張った勢いで、曲がり部分の配管の壁面にごみがぶつかる箇所では配管が削られ、または伸びてしまっていて穴が開いております。この時は、薄くなっている場所を中心とし、40 cmの幅の当て板をして、仮補修を行いました。共同溝内に関しては、この破損部分を参考に、来年度から配管の肉厚測定を行い、測定結果より、著しく薄くなっている配管の更新計画を立てていく予定です。

今回の直接埋設された区間でも、曲がりの壁面部分で穴が開いたことがカメラで確認されたため、ごみがぶつかって穴が開いたと考えております。

5 対策（補修方法）

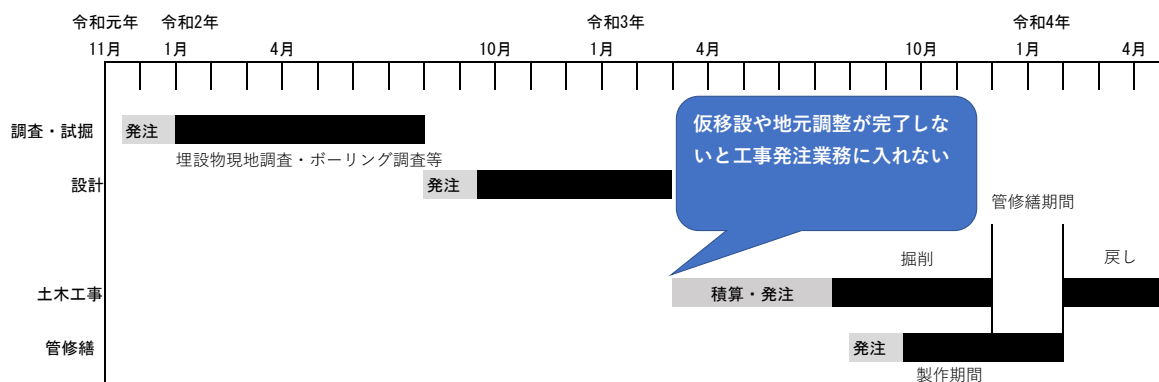
空気輸送システムを復旧させるため、2つの案について検討しました。案1は、既存の配管を修繕する方法で、案2については、幕張クリーンセンターの敷地内へ配管の布設替えを行う方法です。



各案の詳細や概算スケジュールについて、現段階では下記のようになります。

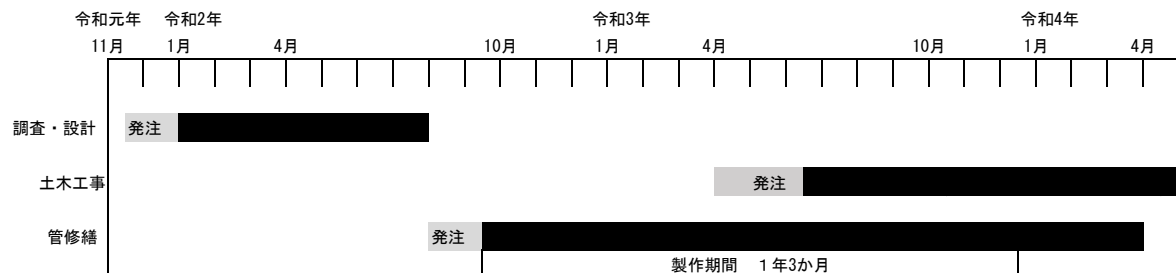
案1 既存の配管の修繕

- ・公道を全面通行止めにしての道路掘削工事が必要となります。
- ・関連する会社などに、試掘調査の立ち合いを依頼し、埋設物の詳細を確定させ、同時にボーリング調査を行い、地質や地下水位について調査します。
- ・調査や試掘が完了したら、設計業務を行います。
- ・概ね設計業務が完了したら、近隣商業施設等と工事実施に向けた調整を行います。
- ・設計後は調整済みの条件のもと工事発注します。
- ・埋設配管の仮移設が必要な場合は、発注前に依頼します。



案２ 幕張クリーンセンターの敷地内へ配管の布設替え

- ・新しい管を敷設するため、新設する管のための設計業務を行います。
- ・今後のメンテナンスを踏まえ、点検口などの設置を検討します。
- ・検討内容を踏まえた設計を実施した後、工事を発注します。
- ・廃棄物を輸送する管は特殊であるため、製作に約１年３か月かかります。



まずはこの２つの案をベースに検討しますが、案１に関しては、準備等に時間がかかるため、案２を進められるように県と調整していきます。

なお、今回示したスケジュールに関しては、設計が未実施のため概算です。どちらの方法も不明な埋設物や仮移設が必要な案件が出てくると、工期は数か月単位で大幅に伸びてしまいます。詳細が決まったらご連絡します。

問合せ先：廃棄物施設維持課

電話 ０４３－２４５－５６５３

FAX ０４３－２４５－５４７３